

セッション予稿集

Y-5 : 文部科学省 協賛セッション

研究支援サービスが切り拓く「科学の再興」

～AI for Science時代の【時間・環境・人材】をURAはどうプロデュースするか～

文部科学省が実施する「**研究支援サービス・パートナーシップ認定制度**」(A-PRAS)は、一定の要件を満たす民間研究支援サービスを文部科学大臣が認定する制度です。この制度は、研究者の皆さまが研究時間を確保し、研究環境を向上させ、我が国における科学技術の推進及びイノベーションの創出を加速するとともに、研究支援サービスに関する多様な取組の発展を支援することを目的としています。

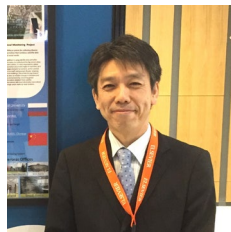
本セッションでは、第12回年次大会のテーマでもある「科学の再興」において中核的取組として位置づけられる「AI for Science」による科学研究の革新」というトピックに対し、アカデミア(URA)が抱える課題やニーズを共有した上で、研究現場が抱える課題の解決に研究支援サービスがどのように貢献できるのか、URAと認定サービス事業者がパネルディスカッション形式で議論を行います。研究現場における現状の課題の解決策やこれから求められる研究支援の在り方についての事業者とアカデミアによる議論を通じて、よりよい研究支援エコシステム構築を模索します。



研究支援サービス・パートナーシップ認定制度 (文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/1422215_00001.htm
科学技術・イノベーション基本計画 (内閣府)
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index.html>

・パネルディスカッション登壇者

横田秀和 (東海大学 大学戦略本部(研究戦略担当) / 学長室(研究推進・産学連携担当))



東海大学に入職後、技術職員として教育研究情報基盤の運用と開発に従事。その後、研究推進・研究公正に携わり、2023年度より認定URA。医学部・付属病院における研究支援・産学連携を経て、現在は大学戦略本部と学長室を兼務し、全学の研究力強化に取り組む。

井上良一 (京都リサーチパーク株式会社 / 事業企画部 部長) 関根岳之 (エナゴ(株)クリムゾンインタラクティブ・ジャパン))



岡山県出身。立命館大学法学部卒業後、デベロッパーを経て京都リサーチパーク株式会社入社。企業誘致・施設開発・経営企画・スタートアップ支援を経験。研究所の提供者としてソフト・ハード両面で快適な研究環境の構築を担う。



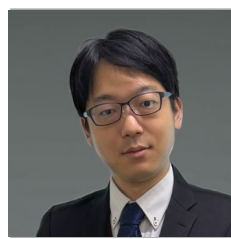
製薬からアカデミアまで18年以上にわたり戦略的パートナーシップ業務に従事。現在はエナゴ日本事業の一員として国内の大学・研究機関との連携を統括。研究者や大学関係者と協働し、学術界の国際発信と発展を支援している。

久野祐輔 (株式会社 システム計画研究所／ISP)



新卒でシステム計画研究所(ISP)に入社。ソフトウェアエンジニアとして画像処理等の開発を担当。近年はAI、データ解析、LLM、バイオインフォマティクス技術を活用した新規ビジネス創出に携わっています。

中西明日輝 (中西印刷株式会社)



筑波大学大学院図書館情報メディア研究科修士。中西印刷株式会社に入社後は、社内AI活用の推進や、学術論文のXML化、XMLベース組版技術の開発等に携わり、現在同社取締役CIO。

・セッション実行委員・パネルディスカッション司会

植田陽子 (文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発戦略課)

2007年に文部科学省入省。科学技術・学術政策局にてキャリアを開始し、原子力政策や量子科学技術分野を担当したほか、防衛装備庁への出向も経験。2026年より現職。